



未来を拓く春のトピック
地道に果敢に挑戦を続けよう

第10回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



飯館の春がいつになく急ぎ足で訪れ、桜咲く入園式、入学式も記憶に新しいところですが、もうすぐ新緑の季節となります。

この春のトピックと言えば、ご夫妻が植樹を始めてから25年の歳月を経た美しく壮大な景観、すでに飯館村の春の風物詩ともなっている伊丹沢地区の飯館復興三千本校です。4月8日の夜は若手有志「ふらつこ」によるライトアップ、9日は桜まつりと、飯館の春を「堪能」させて頂きました。4月初旬にお花見と春雪が重なったのは村の歴史でも初めてのことと思いますが、村内外の多くの方が集まってワクワクするひと時に「有難し」と感謝致しました。

桜が満開となった4月15日には、村・県・国の代表者が一堂に会して、村内唯一の帰還困難区域である長泥地区の避難指示解除について協議し、解除日時の同意を得た結果、5月1日午前10時に長泥地区特定復興再生拠点区域および長泥曲田公園の避難指示が解除されました。これまでの取り組み、これからの取り組みについては、紙面上その一端ではありますが、今月号の特集記事をご覧ください。この間、12年あまりの歳月を経る中、長泥地区住民の方々のふるさとへの熱い想い、いつも胸を打たれてきました。夢のあるふるさと長泥へ向かって、また村全体が「明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと」に向かって、皆様と一緒歩んで参ります。

そして、24日には株式会社ハシドラック様と「飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定」を締結いたしました。昨年5月からの協議が今回実を結んだもので、飯館村内への出店を進めたいと、こととなりました。これまで多くの村民の皆様からご要望をいただいております。新鮮食品、日用品のほか医薬品、クリーニング受付等を村内でお取り扱いいたたくほか、「村民の交流の場」としても活用いただけたらと思います。また村産品を他の店舗で販売することで、村の魅力を広く周知していくことも出来ると思う」という力強いお言葉を、橋浦希社長から頂戴しました。

いずれのトピックも「村の将来への布石」として大きな一歩となるものです。「ふるさと」の担い手「たる多くの方々が地道に、また果敢にチャレンジしてきた「開拓」の証(あかし)でもあります。

今後も「村民の今を支える」、「村の将来への布石」という二つの視点を持って、更に歩みを進めて参ります。

ひとのうごき

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
巻野 まほろちゃん	修一さん 敦子さん	伊丹沢



ひとのうごき 令和5年3月31日現在

人口	今月(前月比)	3月1日~31日までの人口動態
●男	2,393人(-4)	転入 9人
●女	2,374人(-10)	転出 16人
計	4,767人(-14)	出生 2人
世帯数	1,804戸(-1)	死亡 9人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
三浦 千恵子さん	64	白石
菅野 操さん	91	蕨平
大澤 章男さん	67	草野
熊谷 マキさん	88	飯樋町
齋藤 ミツイさん	91	深谷
菅野 正三さん	93	比曾

ご冥福をお祈り申し上げます

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

お詫びと訂正

広報4月号P17の「村の組織と職員の配置」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(追加) までのりの里のこども園 佐藤朱美(任)

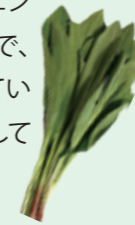
ふるさと資源

発掘図鑑!



#行者ニンニクラーメン

4月、いいたて村の道の駅までい館に、期間限定で『行者ニンニクラーメン』が登場しました。行者ニンニクは菅野隆幸さん(関根・松塚)が生産したものを使用。炒めた行者ニンニク、豚肉、モヤシをのせた醤油ラーメンで、新鮮な行者ニンニクの風味が活かされています。旬が短いため広報発行時には終了していますが、来春もぜひ!の逸品でした。



皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)
☎0244-42-1613

#山に花木を植えています



赤石澤備さん(上飯樋)は、自宅の周辺に多種多様な花木を植えています。4月上旬、その裏山では、シダレザクラとレンギョウが花の盛りを迎えていました。レンギョウは5年前から挿し木をして増やし、道の駅の直売所にも出品しています。「イチヨウ並木もつくりたいと考えています。将来は孫の世代が大切にしてくれたらうれしいですね」。

村民広報委員
ふじおさんの



第10回

いいたて 宝さがし



牛の写真は磯山さんのInstagramからお借りしました。
Instagram @isomisama

“一所懸命”

今回は若いカップルを紹介します。磯山一成さん、美幸さんご夫婦(大久保・外内)です。子どもは4人。一成さんは岡山県美咲町生まれの34歳。美幸さんは菅田地区(白石)出身で、故・菅野政雄さんの一人娘です。

一成さんが仕事で福島に来ている時に美幸さんと知り合い結婚し、2人で営農センターのアルバイトや除染の仕事をして、今は大倉地区の和牛繁殖農家で2人一緒に働き、将来は自分達で牛を育ててみたいと、楽しい夢を語ってくれました。ほがらかで元気な若いカップルです。

これからも飯館村に移住者が多くなる中で、一所懸命に働き生きている彼らを、どんな形でかずっと見守り、仲間として付き合っていきたいと思っています。

新しい飯館村の宝だと想います。